

スロークッカー ASC-20

取扱説明書【保証書付】

このたびは、「スロークッカー」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
なお、この取扱説明書には保証書が付いています。
お読みになられたあとも、大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1~2
各部のなまえ	3
ご使用の前に	4
内鍋についてのご注意	4
正しい使いかた	5~9
モードについて	10
お手入れのしかた	11
故障かな?と思ったら	11
別売品について	12
仕様	13
アフターサービスについて	14
保証・無料修理規定	15
保証書	15

ご使用前に本書を必ずお読みください。

※ご使用前に付属品・部品などが揃っているかを確認をお願いいたします。本製品は、厳重な品質管理と検査をして出荷しておりますが、万一欠損、欠落等ございましたらご購入後1か月以内に、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までお問い合わせ頂けますようお願いいたします。速やかに無償で送付させていただきます。

安全上のご注意

- * ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- * ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの。

絵表示の一例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

* お読みになられたあとは、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

警告



● 他の目的/場所での使用や、専用(純正品)以外の部品を流用しない。
本製品は、家庭用の電気調理器です。



● 延長コードは使用せず、定格15A以上のコンセントを単独で使う。
他の器具と併用したり、延長コードを使うと、分岐コンセント部が異常発熱し、発火することがあります。



● AC100V以外では使用しない。
火災・感電の原因になります。



● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因になります。



● 使用中に異常が発生した場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
修理はお買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。



● 電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は拭き取る。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。



分解禁止

● 改造・分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。



禁止

● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。
火災・感電の原因になります。



指示

● 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
感電・やけど・ケガの原因になります。

警告



ぬれ手禁止

- ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。スイッチを押さない。感電やけがの原因になります。



禁止

- 本体および電源プラグ/電源コードを水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の原因になります。



指示

- 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。感電・ショート・発火・発煙の原因になります。



注意



指示

- 電源プラグを抜くときは電源コードをもたず、必ず電源プラグをもって引き抜く。感電・ショートの原因になります。



プラグを抜く

- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。

ケガややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



指示

- 耐熱性があり、平らで安定した場所に置く。ケガややけど、火災の原因になることがあります。



禁止

- 調理/保温中は、覆ったり持ち運んだり(移動)しない。ケガややけど、火災の原因になることがあります。



指示

- 火の気(熱源)や可燃物、壁や家具、電源を取るコンセント、水のかかる場所からは、十分に距離をとって使用する。ケガややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になることがあります。



禁止

- 缶詰やビン詰めのまま、加熱しない。ケガややけど、火災の原因になることがあります。



指示

- 内鍋に材料を入れる際は、必ず容量を守る。吹きこぼれや空だきの原因になります。



禁止

- ふたの「つまみ」や本体の「取っ手」と「操作部」以外は、素手で触れない。調理/保温中および調理終了後もしばらくは熱いため、ケガややけどの原因になることがあります。



プラグを抜く

- お手入れは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、各部が完全に冷えてから行なう。ケガややけどの原因になることがあります。



禁止

- 内鍋を直火や電子レンジ・オーブン・IH調理器などにはかけない。容器の割れ、ヒビの原因になります。



禁止

- 揚げ物調理はしない。故障や火災の原因になることがあります。



禁止

- 電気カーペットやガラステーブル・テークロスなどの上では使用しない。発火・発煙・破損の原因になります。



禁止

- 使用中や使用後しばらくは高温部に触れない。やけどの原因になります。



禁止

- 壁や家具の近くでは使用しない。蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色や変形の原因になります。



禁止

- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。



禁止

- 専用の内鍋以外を本体に入れて使用しない。故障・発火の原因になります。



指示

- 5℃以上の環境で使用する。容器内の温度が均一に保てず性能が出なかったり、加熱不足による食中毒になる恐れがあります。



指示

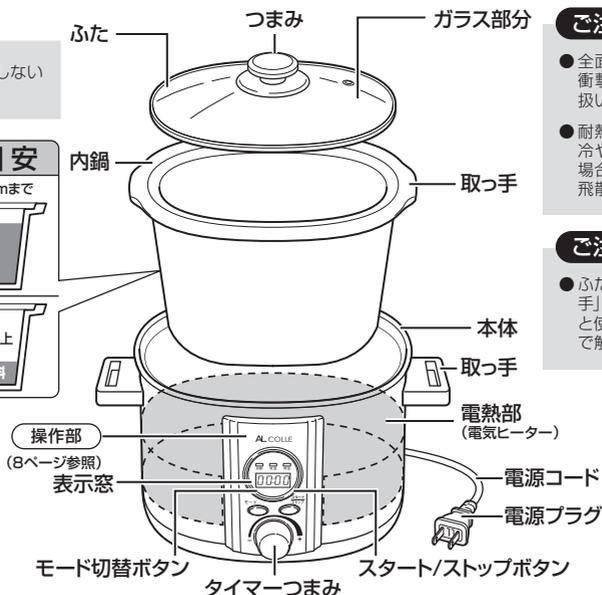
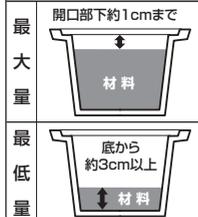
- 調理後は必ず火が通っていることを確認する。食中毒などの原因になります。

各部のなまえ

ご注意

- すらして使用しないでください。

容量の目安



ご注意

- 全面物理強化ガラスです。急激な衝撃を与えたり、傷がつくような取扱いは避けてください。
- 耐熱ガラスではないため、急激に冷やさないでください。破損した場合、破片が細片となって激しく飛散し、けがの原因になります。

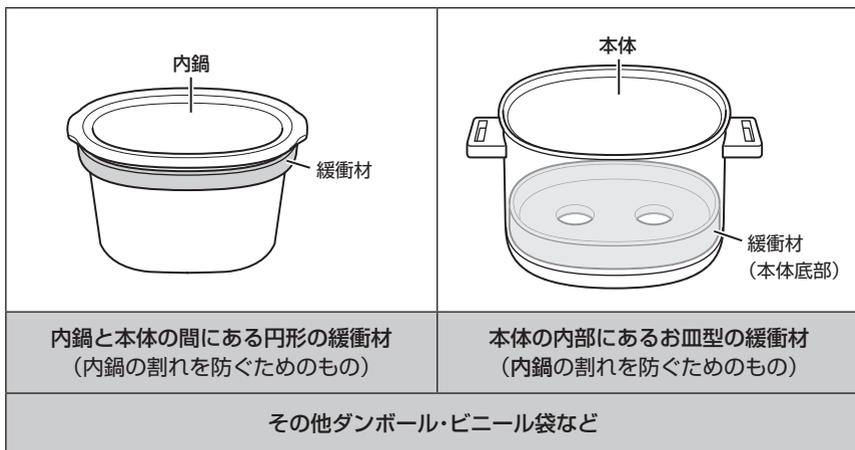
ご注意

- ふたの「ガラス部分」、内鍋の「取っ手」、および本体は、調理/保温中と使用後しばらくは熱いので、素手で触らないでください。

はじめてご使用になるときは

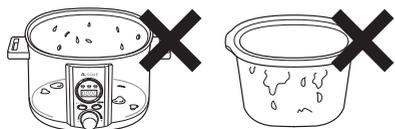
- 必ず「安全上のご注意」(P.1～2)をお読みください。
- 輸送中の衝撃による破損を防ぐため、商品の側面や内部に部品を固定する緩衝材を使用しています。はじめてご使用になるときは、必ず取り外してください。

例)

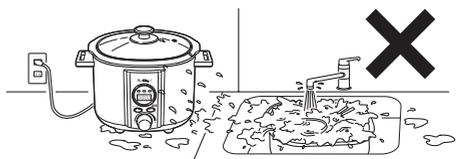


ご使用の前に

- 本体内部および内鍋の外側／底面の水気や食材カス等は、拭き取ってください。



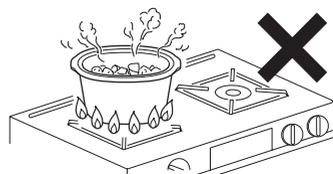
- 火の気(熱源)や水のかかる場所からは、十分に離してください。



- 5℃以上の環境で使用してください。

内鍋についてのご注意

- 内鍋を直火や電子レンジ・オープン・IH調理器などにかけない。
容器の割れ、ヒビの原因になります。



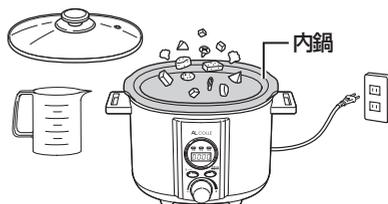
- 正しくご使用されている過程で、内鍋の表面に細かいヒビが入ることがあります。これは「貫入」と呼ばれる特性であり、異常ではありません。ただし煮汁が染み出してしまう場合には、交換が必要です。新しい内鍋のご注文は裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までお問い合わせください。「別売品について」(P.12)を参照してください。

正しい使いかた

■自動モードの使いかた

1 内鍋を本体にセットし、材料を入れます。

- 内鍋を本体にセットし、下ごしらえをした材料を入れ、ふたをしてください。
- 材料を入れる際は、容量をお守りください。入れすぎは、吹きこぼれの原因になります。
- 目視容量目安は内鍋の3～8分目です。



2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

- 「ピッ」と鳴り、表示窓が全点灯したあと「- - -」が表示され、待機状態になります。
- 電源プラグをコンセントに、直接差し込みます。根元まで、確実に差し込んでください。

3 モード切替ボタンで「自動」に設定後、タイマーつまみでお好みの調理時間をセットし、スタート/ストップボタンを押します。

操作の詳細は「操作部の使いかた」(P.6)を参照してください。

- 調理終了後、自動的に保温に移行します。
・「モードについて」(P.10参照)

保温の必要がないときはスタート/ストップボタンを押して、保温を切ってください。

- 調理中はふたを開けたり、ずらしたりしないでください。温度が下がり調理が完了しません。また、水分が蒸発して焦げることがあります。
- 付属のレシピブックに従って、容量/設定モード/時間を守ってください。

※「保温」モードでの調理はしないでください。食材の腐敗の原因になります。保温機能は調理後の保温延長にのみご使用ください。



タイマー設定可能時間
30分～10時間(30分単位)

ご注意

- 吹きこぼれや空だきにご注意ください。
- 内鍋にお箸やお玉、しゃもじ等を入れたままにしないでください。

4 調理終了後は、スタート/ストップボタンを押し(※)、電源プラグをコンセントから抜きます。

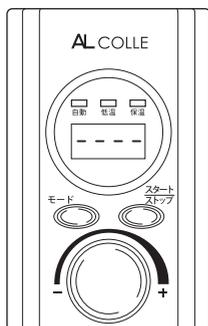
※自動モード使用時は、調理終了後に自動的に保温に移行しているため、スタート/ストップボタンを押して保温を切ってから電源プラグを抜いてください。

- 各部が冷えてからお手入れ(P.11参照)をしてください。

操作部の使いかた

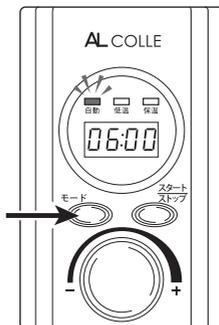
例)「自動」モードで4時間調理する場合

- ① 電源プラグをコンセントへ差し込む



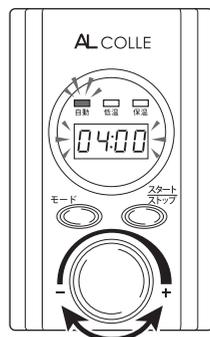
表示窓に“---”が点灯

- ② モード切替ボタンを押して調理モードを選択
(押すたびにモードが切り替わります。)



「自動」を選択
(自動モードのランプが点滅)
例)「自動」モードで4時間調理する場合は
モードボタンを1回押し、「自動」を選ぶ

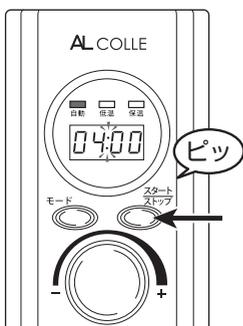
- ③ タイマーつまみを回してタイマー設定



タイマーつまみを回し時間を設定
(30分単位で設定可能)

例)「自動」モードで4時間調理する場合は
“04:00”に合わせる

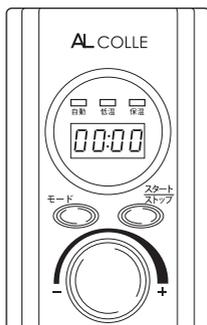
- ④ スタート/ストップボタンを押す(調理開始)



[ピッ]と鳴り、表示窓の“:”が点滅し、
表示窓に調理終了までの残り時間が
1分単位で表示されます

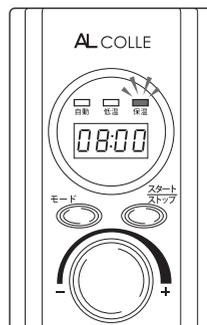
例)「自動」モードで4時間調理する場合は
“04:00”からスタート

- ⑤ 調理終了



表示窓が“00:00”になり
[ピーッ]と5回鳴り、
調理の終了をお知らせします

- ⑥ 自動保温(最大8時間)



設定モードのランプが消え、
保温モードランプが点灯します
表示窓に保温の残り時間が
1分単位で表示されます
その後、8時間で待機状態になります

※途中で調理をやめたい時、保温を中止したい時はスタート/ストップボタンを押してください。



保温モードでの調理はしないでください。食材の腐敗の原因になります。
保温機能は調理後の保温延長にのみご使用ください。

正しい使いかた

■低温モードの使いかた

1 内鍋を本体にセットし、調理する食材にあわせた分量の水を入れます。

- 内鍋を本体にセットし、食材にあわせた分量の水を入れ、ふたをしてください。
- 水を入れる際は、容量をお守りください。入れすぎは、吹きこぼれの原因になります。
- 常温の水を入れてください。(お湯を入れると調理の仕上がりに差が出る場合があります。)



2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

- 「ピッ」と鳴り、表示窓が全点灯したあと「- - -」が表示され、待機状態になります。
- 電源プラグをコンセントに、直接差し込みます。根元まで、確実に差し込んでください。

3 モード切替ボタンで「低温」に設定後、タイマーつまみで好みの調理時間をセットし、スタート/ストップボタンを押したあと、通知音が鳴るまで待機します(待機時間約1時間30分 ※常温の水約400mlの場合)。

操作の詳細は「操作部の使いかた」(P.8)を参照してください。

・「モードについて」(P.10参照)



タイマー設定可能時間
30分～10時間(30分単位)

4 通知音が「ピッピッ」と鳴ったら、チャック付き密封袋に入れた状態の食材を入れ、スタート/ストップボタンを押します。

- 材料を入れる際は、容量をお守りください。入れすぎは、吹きこぼれの原因になります。
- 目視容量目安は内鍋の3～8分目です。
- 調理中はふたを開けたり、ずらしたりしないでください。温度が下がり調理が完了しません。また、水分が蒸発して焦げることがあります。
- 付属のレシピブックに従って、容量/設定モード/時間を守ってください。
- 通知音が鳴ったあとに何も操作がなければ、1時間後に自動的に待機状態になります。

※「保温」モードでの調理はしないでください。食材の腐敗の原因になります。

保温機能は調理後の保温延長にのみご使用ください。

ご注意

- 吹きこぼれや空だきにご注意ください。
- 内鍋にお箸やお玉、しゃもじ等を入れたままにしないでください。
- チャック付き密封袋の中に空気が入ったまま調理すると水面に浮かび、うまく調理できないことがあります。袋の中の空気はしっかり抜いてください。

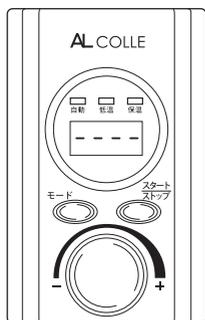
5 調理終了後は、自動的に待機状態になります。調理したものは長時間鍋の中で放置せず、すぐに取り出してなるべく早く召し上がるか、冷蔵庫などで保存してください。

- 各部が冷えてからお手入れ(P.11参照)をしてください。

操作部の使いかた

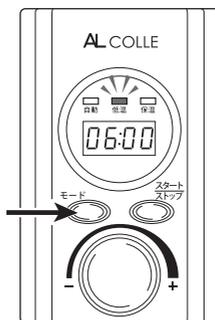
例)「低温」モードで4時間調理する場合

- ① 電源プラグをコンセントへ差し込む



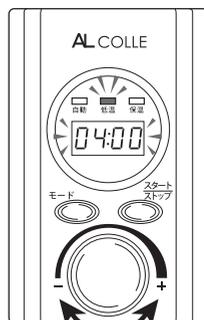
表示窓に“---”が点滅

- ② モード切替ボタンを押して調理モードを選択
(押すたびにモードが切り替わります。)



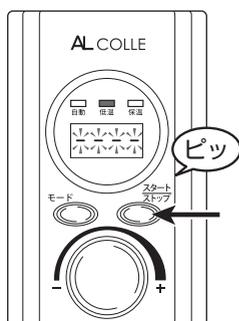
「低温」を選択
(低温モードのランプが点滅)
例)「低温」モードで4時間調理する場合はモードボタンを2回押し、「低温」を選ぶ

- ③ タイマーつまみを回してタイマー設定



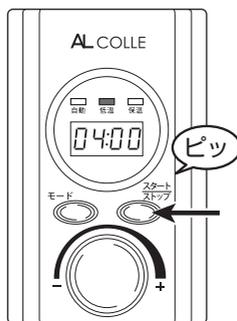
タイマーつまみを回し時間を設定
(30分単位で設定可能)
例)「低温」モードで4時間調理する場合は「04:00」に合わせる

- ④ スタート/ストップボタンを押す(予熱調理開始)



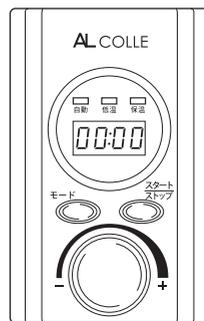
表示窓の“---”が左から順に点滅をくり返す
※ 予熱調理が終了するまで約1時間30分かかります
(常温の水約400mlの場合)

- ⑤ 予熱終了後、食材を投入し、スタート/ストップボタンを押す(調理開始)



[ピッピッピ]と鳴り、表示窓に設定した調理時間が表示されます
※ここで調理時間を設定することもできます
表示窓の“:”が点滅し、表示窓に調理終了までの残り時間が1分単位で表示されます

- ⑥ 調理終了



表示窓が“00:00”になり[ピッ]と5回鳴り、調理の終了をお知らせします
その後表示窓が“---”になり、待機状態になります(低温モードは調理後の自動保温機能はありません)

※途中で調理をやめたい時、保温を中止したい時はスタート/ストップボタンを押してください。



保温モードでの調理はしないでください。食材の腐敗の原因になります。
保温機能は調理後の保温延長にのみご使用ください。

正しい使いかた

■保温モードの使いかた（保温の延長のしかた）

自動モード終了後に、8時間の自動保温機能が付いています。自動保温の終了後、さらに保温したい際にご使用ください。

※決して保温モードでの調理はしないでください。食材の腐敗の原因になります。

- 1** 自動モード調理後の自動保温が終了したあと、モード切替ボタンを押して「保温」を選択し、タイマーつまみを回して保温したい時間をセットする。

・「モードについて」(P.10参照)



タイマー設定可能時間
30分～10時間(30分単位)

- 2** 保温したい時間をセットしたあと、スタート/ストップボタンを押します。

●保温中はふたを開けたり、ずらしたりしないでください。水分が蒸発して焦げることがあります。

ご注意

- 「保温」モードでの調理はしないでください。食材の腐敗の原因になります。保温機能は調理後の保温延長にのみご使用ください。
- 途中で保温を中止したい時はスタート/ストップボタンを押してください。
- 吹きこぼれや空だきにご注意ください。
- 内鍋にお箸やお玉、しゃもじ等を入れたままにしないでください。

- 3** 保温終了後は、電源プラグをコンセントから抜きます。

●各部が冷えてからお手入れ(P.11参照)をしてください。

モードについて

モードの説明		調理例	タイマー設定 可能時間	調理後 の保温
自動	最高温度に到達した後、温度を徐々に下げて調理します。料理は温度が下がるときに味が染みるので、美味しく仕上がります。 調理後は自動で保温に切り替わります。(最大8時間)	●魚の煮付け ●カレー	30分～10時間 (30分単位)	あり (8時間)
低温	時間をかけてゆっくりと予熱したあと、食材を投入して低温で調理します。低温で調理することで、食材の旨みと水分を逃さず調理できるので、しっとりと柔らかく仕上がります。	●サラダチキン ●ローストビーフ		なし
保温	自動モードで調理後に、自動で保温に切り替わります(最大8時間)。また最大8時間の保温が終了した後、保温を継続したい場合に、さらに30分～10時間保温の延長ができます。 ●ただし、長時間の保温は、においや変色・腐敗の原因になりますのでご注意ください。ご使用の環境や食材・分量に合わせ、お客様ご自身で調節してください。	—		—

自動モードについて

温度がゆっくりと上昇するため、調理時間が短かすぎると加熱不足となり、高温による殺菌ができない可能性があります。付属のレシピブックに従って、容量/設定モード/時間を守ってください。

低温モードについて

低温モードでは高温による殺菌ができないため、使い方を誤ると菌が繁殖し、食中毒を起こす恐れがあります。以下の注意を必ず守ってください。

- 調理前に手や器具をよく洗い、衛生的に調理してください。
- 調理時、直接手で食材に触れないでください。
- 食材は新鮮なものを使用し、調理に使用するチャック付き密封袋は毎回新しいものを使用してください。
- レシピ記載の時間設定に従って、必ず容量を守り、設定時間以上加熱してください。
なお、レシピ記載の設定をお守りいただいた上であっても、食材や調理環境などによっても安全面のリスクが異なるため、十分ご注意ください。
- 妊婦、お年寄り、お子様、免疫力の弱っている方、健康の具合などに不安のある方は食べないでください。
- 調理終了後は90分以内にお召し上がりいただくか、チャック付き密封袋ごと氷水に浸けて急冷し、冷蔵・冷凍保存してください。
- 調理完了から90分放置された食材は、菌の繁殖や腐敗の可能性がありますので、食べないでください。
- レシピに記載の設定をお守りいただいた上であっても、食材やご使用の環境などにより、安全面のリスクが異なるため、最終的には自己責任となります。

保温の延長について

最大8時間の保温が終了した後も保温を継続したい場合に、さらに30分～10時間保温の延長ができます。なお、保温モード使用時は以下の注意を必ず守ってください。

- 保温モードでの調理はしないでください。保温機能は調理後の保温延長にのみご使用ください。

お手入れのしかた



- ・必ず電源プラグをコンセントから抜き、各部が完全に冷えてから行ってください。
- ・ご使用後は、毎回お手入れをしてください。
- ・本体・内鍋には金たわしなどは、使用しないでください。

ふた / 内鍋のお手入れ

- ふたと内鍋は水洗いができます。
- 中性洗剤とスポンジで水洗いしてください。
- 内鍋の内側に付着した汚れは、歯ブラシなどで落としてください。

本体のお手入れ

- 本体の水洗いは絶対にしないでください。
- 中性洗剤を入れた水に布を浸し、固めに絞って、本体の汚れを拭いてください。
- シンナーやベンジン、みがき粉などは使用しないでください。変色・サビ・傷の原因になります。

故障かな?と思ったら

こんなときは?	確認してください!!
表示窓が点灯しない	・コンセントから電源プラグが抜けていませんか? →電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
本体から煙やにおいが出る	・調理中は煙(蒸気)が出ることがあります。また使いはじめは、製品の生産時に必要な油分が熱せられることにより、煙やにおいが出ることがあります。ご使用上問題はございません。
使用中に「カチカチ」といった音がする	・ヒーターを制御している音です。 ご使用上問題はございません。
内鍋の底面のざらつきが気になる	・サンドペーパーなどを使って軽くこすってください。 ざらつきが軽減されます。
調理が上手にできない (吹きこぼれる・焦げる) (生煮え・煮えすぎ)	・調理容量を守っていますか? →調理容量目安は内鍋の3~8分目(底から約3cm以上~開口部下約1cm)までです。 ・調理中にふたを開けたり、ずらしたりしていませんか? →調理中はふたを開けたり、ずらしたりしないでください。温度が下がり調理が完了しません。また、水分が蒸発して焦げることがあります。 ・モードやタイマー(調理時間)の設定は適切ですか? →ご使用の環境や食材・分量に合わせ、お客様ご自身で調節してください。

こんな表示が出たら		
表示内容	原因	処置のしかた
E1	センサーの不具合が考えられます。	→お買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご連絡ください。
E2		
E5	温度過昇が考えられます。	→電源プラグをコンセントから抜き、内鍋を本体から取り出して本体を冷ましてください。

- 以上のことをお調べいただき、なお異常のあるときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご連絡ください。

別売品について

別売品のお求めは、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にお問い合わせください。

別売品は弊社ホームページ(二次元コード)でもお買い求めいただけます。

- ・掲載サイトの閲覧は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。)
- ・お使いのスマートフォンなどにより、正しく表示されない場合があります。



	名 称
	内鍋
	ふた
	レシピブック

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz	
消 費 電 力	120W	
安 全 装 置	温度ヒューズ: 172℃	
外 形 寸 法	約266(幅)×198(奥行)×242(高さ)mm	
内 鍋 寸 法	底部内径	約85~140mm
	上部内径	約120~175mm
	深 さ	約118mm(開口部下)
満 水 容 量	約2.0L	
調 理 最 大 容 量	約1.5L	
目 視 容 量 目 安	内鍋の3~8分目まで(開口部下約1cmまで)	
タ イ マ ー	最大10時間	
質 量	約2.8kg	
コ ー ド 長	約1.2m	
付 属 品	レシピブック、取扱説明書(本書:保証書付)	

- 本機の仕様および外観については改良のため予告なく変更することがあります。
- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

アフターサービスについて

1. 保証書

- ・保証書は、本書の裏面に添付されています。(※本書から切り離さないでください)
- ・保証書はお買い上げの販売店で「お買い上げ日」と「販売店」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- ・保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼される時

- ・保証期間内
商品に本書(保証書)を添えて、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご連絡ください。保証の記載内容により、無料で修理いたします。
- ・保証期間が過ぎている
お買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。修理によって使用できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・「スロークッカー」の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

4. 長年愛用された製品の点検 (★長年ご使用のスロークッカーの点検を！)

愛情点検	ご使用の際に、この様な症状がありませんか？	
	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグや電源コードが異常に熱い。●電源コードに深いキズや変形がある。●コゲくさい臭いがする。●その他の異常、故障がある。	 <p>故障や事故防止のため、電源を切ってプラグをコンセントから抜き、必ず販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。</p>

以上、アフターサービスについてのご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」までお問い合わせください。

個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は、当社個人情報保護方針に基づき、適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談/お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のためにアルファックス・コイズミ株式会社および関係会社で上記の個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに、適切な管理/監督をいたします。

【保証・無料修理規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご準備の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご購入、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ご購入後、落下等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
 - 譲渡、転売、リサイクル店（中古品）、中古販売店、オークション等により入手された場合。
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。日本国外からの修理依頼や補修用部品・消耗部品の発送依頼には対応しておりません。Effective only in Japan. We do not offer repair service or dispatch maintenance parts or consumables internationally.
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 ※保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店、または、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。

スロークッカー ASC-20 保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
 お買い上げの日から、下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。

品名／型番	スロークッカー / ASC-20		
お買い上げ年月日 *	年	月	日
無料修理 保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	本体	1年	
お客様様	お名前 *		* 販売店
	様		
	ご住所 *		
TEL ()			

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

販売店の皆様へお願い

必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

お客様サービス窓口・修理受付

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

【お客様サービス窓口】 ☎ **0120-115-224** 電話受付時間：平日 9:00 ~ 17:00
 （土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

【修理品のご送付先】 〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 648-3 アルファックス・コイズミ株式会社 修理係

※修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」に事前にご連絡ください。
 ※弊社への直接の返品はお受けしておりませんので、あらかじめご了承ください。返品につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。

アルファックス・コイズミ株式会社

〒340-0034 埼玉県草加市氷川町2179-17
<https://www.alphax.jp/>